

(報告書様式 C)

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	愛 知 県
-------	-------

学校の概要 (平成 1 5 年 4 月現在)

学校名	田原市立神戸小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	2	1	1 8	2 7
児童数	8 7	9 7	8 4	9 4	8 5	7 7	1	5 2 5	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力と豊かな人間力の育成
- 算数学習における、個に応じた指導のあり方を求めて -

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

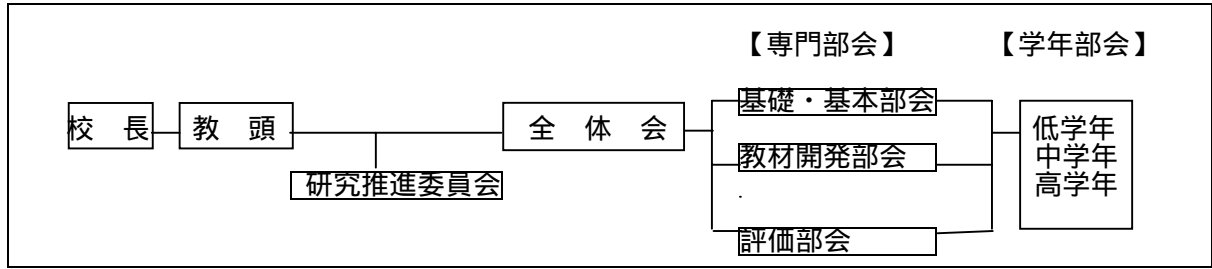
全学年 算数
1・2年生・・・TT指導を中心に
3年生以上・・・TT指導
学年解体の習熟度別指導(3～5コース)
基本的なコース・じっくりコース・・・基礎基本復習中心
・しっかりコース・・・基礎基本定着
・チャレンジコース・・・発展問題挑戦

(2) 年次ごとの計画

平成15年度
テーマ
確かな学力をつけるための、個に応じたきめ細かな指導の実践
研究の見通し
算数学習において、個に応じたきめ細かな指導を工夫改善するとともに生活習慣や学習習慣を見直し、工夫改善することで、確かな学力が身に付くであろう。
研究の内容・方法
・教師の授業力の向上
・習熟度別少人数指導など、指導形態の工夫
・発展的な学習や補足的な学習の創意工夫
・生活習慣や学習習慣の見直し

平成16年度
テーマ
評価を生かした、個に応じたきめ細かな指導の継続的な実践
研究の見通し
算数学習において、評価規準や基準を見直し、改善することで、より個に応じたきめ細かな指導ができ、確かな学力が身に付くであろう。
研究の内容・方法
・教師の授業力の向上
・評価規準を生かした指導の工夫と、評価基準の見直し
・発展的な学習の教材開発
・よりよい生活習慣や学習習慣の確立

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・少人数によるTT指導や習熟度別指導を取り入れたことで、算数が好きになった子が増えた（1・2年85%、3年以上77%が好き）。
- ・少人数指導に取り組むことにより、今まで以上に子ども一人一人を把握し、個を理解できるようになった。
- ・教材研究や子どもの学習の様子を学年間で相談する必要があるため、学年間の連携が強くなり、子ども理解が今まで以上にできるようになった。

2. 今後の課題

- ・教材研究を含め、今まで以上に教師の授業力を高める必要がある。
- ・学年間での打ち合わせの時間をどのように生み出すかを日課表の検討も含め、工夫していく必要がある。
- ・TT指導や習熟度別指導を取り入れる単元を年間計画の中ではっきりさせたい。
- ・発展的な学習のための教材開発をさらにすすめる必要がある。
- ・ノート指導や学習時の姿勢など学習習慣や生活習慣の大切さが確認されたので、教員間でより意思統一して取り組む必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

- 年度末に学力テストを行い、前年度との学力の伸びを比較検討する。
- 実施テスト：教研式標準学力検査CRT
- 実施学年と教科：1・2年・・・国語、算数
3年以上・・・国語、社会、算数、理科
- 実施時期：2月6日（金）及び9日（月）の予定

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ホームページの作成
- 1月14日（水）学力向上フロンティア東三河地区推進協議会にて実践報告
- 2月27日（金）フロンティアティーチャーとして研究成果普及のため、田原市教育課程研究委員会にて、実践報告の予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級		
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	算数 図画工作	理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	有	無		